

「志木市ローカルマニフェスト」の作成(2004.6.11作成)

志木市は、平成13年10月に、市民主体の自治の実現を目的とした「志木市市政運営基本条例」を施行し、さまざまな行政分野において「市民が創る市民の志木市」の実現を目指した取り組みを実証しています。また、少子高齢社会の到来や厳しい財政環境に対応するため、平成15年2月に未来を切り拓く新たな住民自治への挑戦として「地方自立計画」を策定し、市民との協働業務を実施しているところです。

このようなことを踏まえ、「志木市ローカルマニフェスト」は、「行政から市民への約束」として、成果主義による達成状況をチェックできるように、市政運営の方向性をわかりやすく作成しました。

志木市の特性は？

- 1 志木市市政運営基本条例に基づく、市民主体の自治の実現に向け、情報の共有を図りながら市民と協働する新たな取組を積極的に推進しています。
- 2 総合振興計画基本構想を始め、各種分野別計画は公募市民の参画や市民アンケートを反映して策定しています。

選挙公約として作成されるマニフェストと、どのように違うの？

選挙公約として掲げ、当選してから行政が整合性を図るのではなく、「行政から市民への約束」として、成果主義による達成状況をチェックできるものです。

ローカルマニフェストはどんな効果があるの？

公平・公正・的確、そしてタイムリーな情報の共有が図られます。

市民と行政が一体となって推進する市民運営の指針となります。

オーナーである市民が成果主義による達成状況を判断できます。

ローカルマニフェストの構成は？

市民が創る市民の志木市の実現に向けて推進している主な施策について、今後の方向性を総合振興計画の施策の大綱に整理して、「目標」、「期限」、「費用」、「工程(手法)」をわかりやすく明示します！